

1 次の の中にあてはまる数を答えなさい。

(1) $\{17 - (1 + 5 \times 2)\} \div 2 \times 3 = \text{$

(2) $\left(1\frac{2}{3} \times 3 + \frac{2}{3} \div \frac{1}{6}\right) - \left(\frac{1}{2} \div 0.2 + 2\right) \times \frac{2}{3} = \text{$

(3) $\frac{2}{3} \div \frac{1}{5} \div \left(\text{$ $+$ $\frac{2}{15}\right) \times \frac{1}{4} = 5$

(4) 原価 2500 円の商品に 2 割の利益を見こんで定価をつけました。その定価の 1 割引きで売ったところ、
 円の利益がありました。

(5) 6% の食塩水 200 g に g の水を加えると 5% の食塩水になります。

(6) ある水そうに水を入れるとき、A のポンプだけで入れると 20 分で水そうはいっぱいになります。また、B のポンプだけで入れると 30 分でいっぱいになります。このとき、A、B の 2 つのポンプを同時に使って水を入れると、 分で水そうはいっぱいになります。

(7) , , , の 4 枚のカードを並べて 4 けたの整数をつくと、全部で 通りの数ができます。

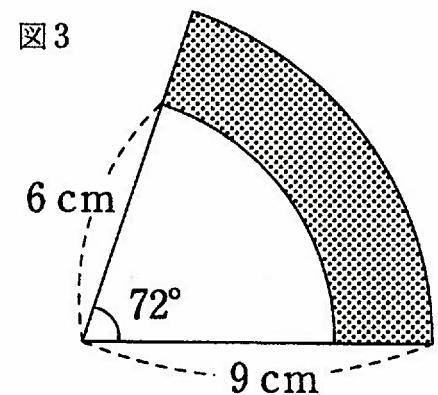
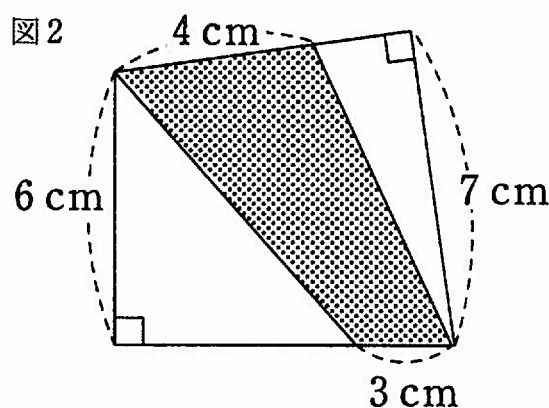
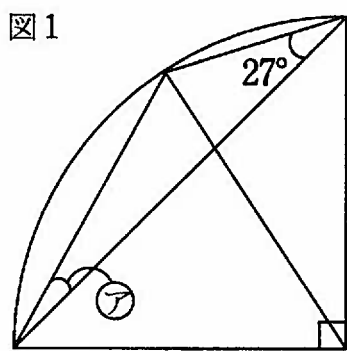
(8) 第1グループ 第2グループ 第3グループ ……
[1] [1, 2, 1] [1, 2, 3, 2, 1] ……

というように、規則的に数が並んでいます。第8グループに含まれる数の和は です。

(9) 図1は、おうぎ形に直線をかき入れたものです。アの角の大きさは 度です。

(10) 図2は、四角形を3つに分けたものです。点線の部分の面積は cm^2 です。

(11) 図3は、2つのおうぎ形を組み合わせてできたものです。点線の部分の周りの長さは ① cm 、
面積は ② cm^2 です。ただし、円周率は 3.14 とします。



2 50 から 100 までの整数について、次の にあてはまる数を入れなさい。

(1) 2 の倍数は全部で 個です。

(2) 2 と 3 の公倍数は全部で 個です。

(3) 2 の倍数でも、3 の倍数でもない整数は全部で 個です。

3 横の長さが12 cm の長方形 ABCD があります。点 P は、A を出発して AD 上を、点 Q は、B を出発して BC 上をそれぞれ一定の速さで往復します。ただし、点 Q は B、C に到着するごとに1秒間停止します。

ア は、点 P が A を出発してからの時間と AP の長さの関係を表したグラフです。

イ は、点 Q が B を出発してからの時間と BQ の長さの関係を3秒後まで表したグラフです。

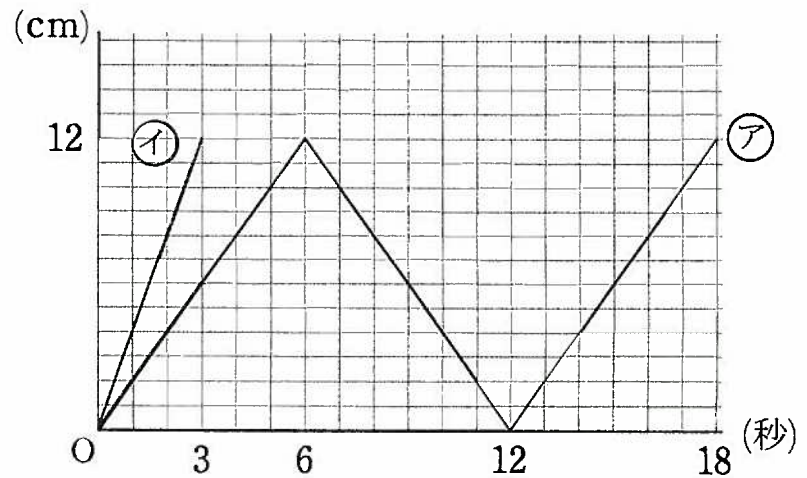
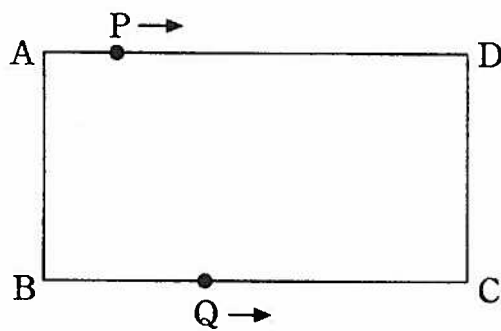
次の(1)、(3)の の中にあてはまる数を答え、(2)の問いに答えなさい。

(1) 点 P の速さは、毎秒 cm です。

(2) イ の続きを18秒後までかきなさい。

(3) 点 P、Q がそれぞれ A、B を同時に出発してから18秒後までに、四角形 ABQP は 回長方形になります。

また、四角形 ABQP が初めて長方形になるのは、点 P、Q が同時に出発してから 秒後です。



4 ある自動車は、時速50 km で走るとガソリン1ℓ (リットル) あたり 25 km 走り、時速80 km で走るとガソリン1ℓ あたり 16 km 走ります。ガソリン1ℓ あたりの値段は140円です。

このとき、次の の中にあてはまる数を答えなさい。ただし、自動車は途中で止まることはないものとします。

(1) この自動車で、30 km の道のりを時速50 km で走ったとき、消費したガソリンの代金は 円です。

(2) この自動車で、まず時速50 km で3時間走り、その後、時速80 km で2時間走りました。このとき、消費したガソリンの代金は 円です。

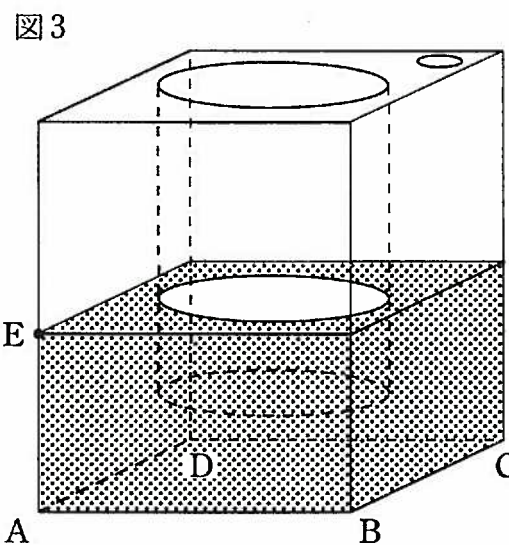
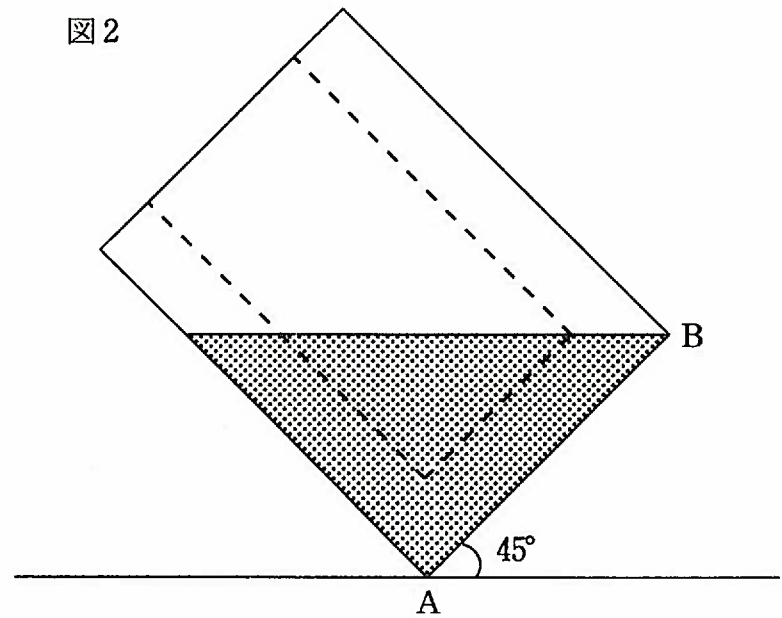
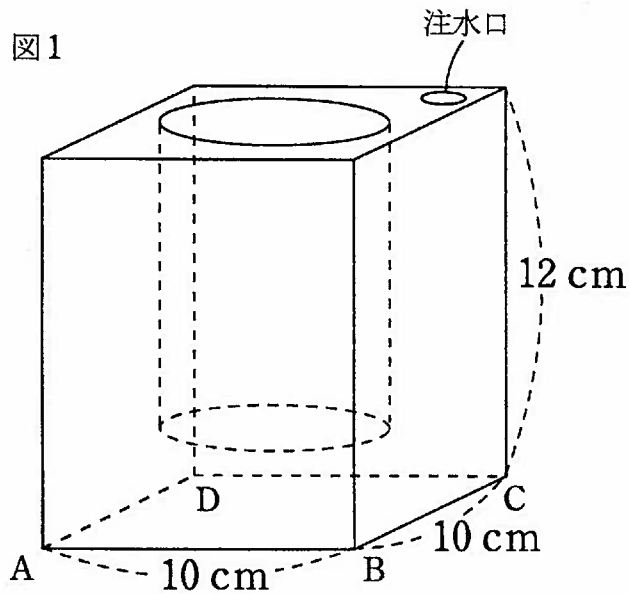
(3) この自動車で、まず時速50 km で走り、その後、時速80 km で走りました。このとき、かかった時間は合わせて10時間で、消費したガソリンの代金は4480円です。

① 時速50 km で走った時間は 時間です。この問題は、考え方も書きなさい。

② 走った道のりは全部で km です。

5 図1のように、直方体から、底面の円の半径が3 cm、高さが10 cmの円柱をまっすぐくりぬいた容器があります。上の面において、円は正方形の真ん中にあります。円柱には水が入らないとし、容器の厚さは考えないものとします。円周率は3.14として、次の□の中にあてはまる数を答えなさい。

- (1) この容器に水をいっぱいになるまで入れたとき、水の体積は□ cm³です。
- (2) (1) から水を減らし、ADを軸として45°傾けると図2のようになりました。このとき、水の体積は□ cm³です。
- (3) (2) の後、容器をもとに戻すと、図3のようになりました。このとき、AEの長さは□ cmです。



番	
号	

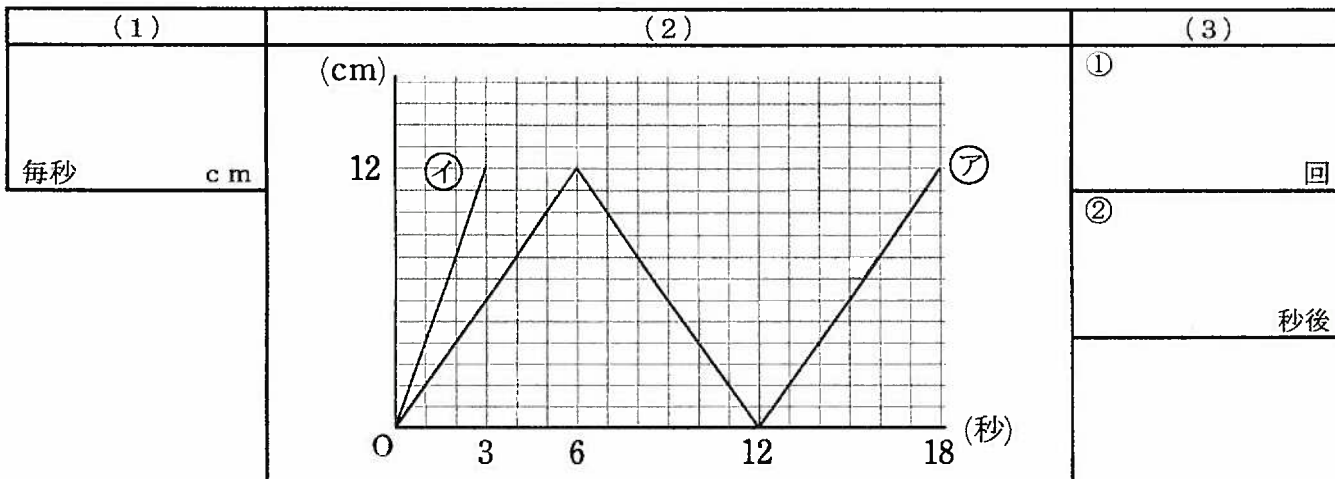
1

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
			円	g	分
(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	
				①	②
通り		度	cm^2	cm	cm^2

2

(1)	(2)	(3)
個	個	個

3



4

(1)	(2)
円	円
(3)	
① (考え方)	②
	km
	(答え)
	時間

5

(1)	(2)	(3)
cm^3	cm^3	cm